



第126回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第165回 I I D E S 糖尿病研究会
第100回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—

日 時 : 平成30年 2月24日 (土) 14:00~17:15

場 所 : 神戸商工貿易センタービル 26F 第1会議室

神戸市中央区浜辺通5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム :

14:00~14:15 テルモ株式会社 一情報提供—

14:15~16:15 (座長:鹿住 敏 武庫川女子大学 栄養科学研究所、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

講演1. 『地域で暮らす糖尿病患者に病院看護師ができること
～地域と連携した支援とは～』

兵庫県立加古川医療センター 慢性疾患看護専門看護師
正井 静香 先生

講演2. 『糖尿病の食事・運動・薬物療法が体内の糖の動きに及ぼす影響』

医療法人川崎病院 副院長・糖尿病内分泌内科
大塚 章人 先生

16:15~17:15 (座長:芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演3. 『認知症と高齢者糖尿病について』

こたに糖尿病内科クリニック 院長
小谷 圭 先生

(1) 参加費: 2,000 円

(2) 申込方法: 事務局へご氏名、ご所属、職種を明記の上 FAX または E-mail にてお願い致します。

(3) 連絡事務局: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO - IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-iides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 講演1:CC12、講演2:CC76、講演3:CC29 各1単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位 申請中

(この認定証の必要な方は、当日CDEJ認定番号をご準備して下さい。)

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための栄養関係研修講座〈第1群〉:1単位 申請中

※ 兵庫県病院薬剤師会 生涯研修 1.5単位 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 1単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
テルモ株式会社

後援: 一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会 申請中

一抄 録一

講演1. 『地域で暮らす糖尿病患者に病院看護師ができること～地域と連携した支援とは～』 正井 静香 先生 兵庫県立加古川医療センター 慢性疾患看護専門看護師

糖尿病患者の多くは、地域で生活している。生活する中で食事・運動療法の実践や薬物療法を行うが、知識としては分かっているにもかかわらず様々な理由で継続した実践につなげるのは容易でない。また糖尿病患者が高齢化する中で、患者の背景や状況に応じた支援が必要になる。病院に勤務する看護師として何ができるのか、当院の取り組みを紹介しながら地域と連携した支援について考える機会になればと思う。

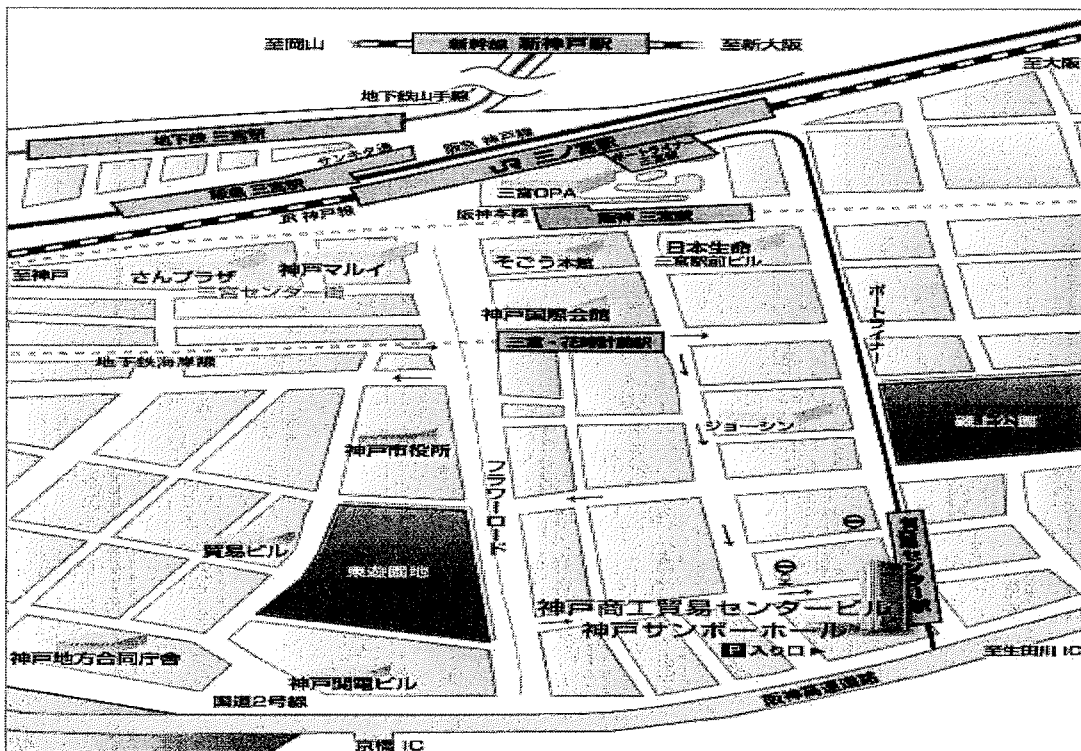
講演2. 『糖尿病の食事・運動・薬物療法が体内の糖の動きに及ぼす影響』 大塚 章人 先生 医療法人川崎病院 副院長・糖尿病内分泌内科

小腸で消化・吸収されたぶどう糖は血糖になり、インスリン依存性に肝臓、筋肉、脂肪組織に取り込まれる。また、肝臓や筋肉で新たに作られたぶどう糖も血糖になる。血糖の一部は腎系球体で濾過された後、SGLT の作用により尿細管で再吸収され血中に戻る。各種糖尿病治療はこれらの体内の糖の動きに作用して効果を発揮している。

講演3. 『認知症と高齢者糖尿病について』 小谷 圭 先生 こたに糖尿病内科クリニック 院長

2型糖尿病は、血管に障害を起こし脳血管性認知症になることが多いだけでなく、アルツハイマー型認知症になるリスクも正常な人の約2倍であると報告されている。事実、認知症は糖尿病の第7の合併症にあげられるようになった。そして実際、高齢者糖尿病患者が増えるに従い、認知症を合併する人が増えてきており、血糖コントロールに苦慮する事例が出てきている。認知症になってからの対策のみならず、ならないための対策についてもそれぞれお話ししたい。

◇会場案内図



三ノ宮駅 (JR) 三宮駅 (阪急・阪神・市営地下鉄山手線) 下車徒歩10分

三宮花博前駅 (市営地下鉄海岸線) 下車 徒歩5分

三宮駅 (ポートライナー) 貿易センター駅下車すぐ